

武蔵野市市民活動推進委員会  
第4回委員会 議事要旨

日時：平成30年12月9日（日）午後4時から5時30分  
場所：武蔵野市民文化会館 第1会議室

1 開会

2 議事

(1) 武蔵野市特定非営利活動法人（NPO 法人）補助金交付団体交流会への視察について

■委員長

- ・ NPO 補助金交付団体交流会に委員会で参加し、感じたことを意見交換し、今後の計画に活かしていきたい。
- ・ 団体との交流時間が短かったが、発表を聞いて市民活動促進基本計画に反映できるものがあれば自由におっしゃっていただきたい。

■副委員長

- ・ 交流会の次第があれば良かった。団体の名前等がわからなかった。
- ・ 様々な団体が活動しているのがわかった。
- ・ 今日参加していた団体は補助金交付団体のみか。

■事務局

- ・ 武蔵野市非営利活動法人補助金の交付決定団体が参加した。

■副委員長

- ・ 補助金をもらっていない団体が発表をする場はあるのか。

■委員

- ・ 別にある。

■委員

- ・ 交流会に市民として参加した立場で言うと、壇上と観客席で距離があり、交流のしようがなかったかなと思う。
- ・ 補助金交付団体が12団体（本日参加は11団体）しかないのかと印象に残った。この数では連携が難しい。
- ・ 補助金交付団体以外にも参加できるイベントがあると良いと思った。

■委員

- ・ 補助金交付団体は毎年違う。今までの団体数は非常に多い数となっている。
- ・ NPO 法人でも補助金に頼らないで活動している団体もある。

■副委員長

- ・ 過去に補助金をもらっていたが、現在はもらっていない団体の話は参考になると思う。

■委員

- ・ 交流会の目的はなんだったのか。

■委員

- ・ NPO 法人同士の交流を図ること。
- ・ 去年はコミュニティセンターで行い、NPO 法人は集まったが一般参加者があまり参加していなかった。
- ・ 今年はスタイルを変えてみた。

■委員

- ・ 今日参加した補助金交付団体が自分たちの活動等を知ってもらいたい、伝えたいのであれば、建物内でなく、駅前でやった方がいいのではないか。

■委員長

- ・ 今日の交流会は補助金対象事業の報告会も兼ねているのか。

■事務局

- ・ 報告会は3月に開催予定としている。
- ・ 交流会は補助金対象事業の進捗確認をしつつ、団体同士、団体と市民の交流を図ることを目的にしている。

■委員

- ・ 今日の交流会は補助金対象事業の報告会だと思っていたが、そうではなかったことに驚いた。
- ・ 補助金交付団体の関係者は多くいたが一般市民は少なかったと思う。
- ・ 交流を目的とするならば、NPO 法人から企画が出されるといいと思う。得意とする団体もあるはずなので。

#### ■委員長

- ・ 過去、市役所の7階には市民活動支援の拠点があり、市民活動のPRをするイベントをして一般市民との交流もあった。
- ・ ボランティアセンターもボランティアフェスタでボランティア団体がPRする場があった。
- ・ 武蔵野プレイスはコミュニティマーケットで市民活動を行っている団体のPRする場がある。
- ・ 上記3団体が協働して例えば市民活動フェスタなどを大規模にやっていくといいのではないか。
- ・ 一般市民の目玉となるような仕掛けが必要。
- ・ 昨年のNPO補助金交付団体交流会はワークショップがあり、市民活動推進委員も数名参加したが、交付団体との交流会は今年よりも意見交換はできた。
- ・ 市民活動推進委員会や市民活動促進基本計画にヒントとなるようなことはあったか。

#### ■副委員長

- ・ 武蔵野プレイスのコミュニティマーケットはどのように開催したのか。

#### ■事務局

- ・ 団体ごとにPRをしてもらっている。
- ・ 武蔵野プレイスは駅前にあるので、通行人が見に来ていた。
- ・ プレイスの3階と公園で行った。

#### ■委員

- ・ 公園と3階だと集客にどのくらい差が出たか。

#### ■事務局

- ・ 午前には公園に集中していた。
- ・ 館内に入ってもらおう仕掛けとしてシールラリーを実施した。午後には館内にも見に来てくれる人が増えてきた。

#### ■委員

- ・ 工夫しないと、例えば市民文化会館でイベントを行ったとしても人は集まらないと思う。

#### ■委員

- ・ コミュニティマーケットに参加して、3階に出展した方と公園に出展した方とで交流ができなかった。
- ・ 市民に伝えるのをメインにするか、出展した方と交流するのをメインにするかを明確にすることが重要。
- ・ 報告をする場と交流をする場を一緒にしてしまうとダメになってしまう。
- ・ ボランティアセンターの事業「ボラカフェ」はブースから離れられず、交流することが難しいと思った。
- ・ 武蔵野プレイスは駅近くで、近くに広場があり、市民が行きやすいところでイベントをやるとよい。

#### ■委員

- ・ 交流会の当初の目的は補助金交付団体同士の連携だった。

#### ■委員長

- ・ 例えば環境フェスタは参加団体が数回会合に集まって交流していた。
- ・ 当日もブース間がせまく、お互いに見に行ったりして交流にもなっていた。
- ・ 交流を目的としても集まらない。具体的なコラボレーションの打ち合わせや、活動のアピールができる場があり、ついでに交流ができる、というイベントならばいいのではないか。
- ・ 市民活動促進基本計画との関わりでは、計画期間中に交流とアピールあるいは多くの市民がイベントに参加してもらえるか、そのようなことを考えていくということではあるのか。

#### ■委員

- ・ ブース出展しているイベント、自分が興味のあるブースだけを見て交流をするといったものがよいのか。

#### ■委員長

- ・ ブースが集まっていれば自然と興味のあるブースを見るという流れになると思う。
- ・ 交流会に参加した各団体の自己紹介・活動紹介を見て感じたことを教えてほしい。
- ・ 芸術体験や歌であったり、分野としては趣味・教養だったと思う。
- ・ 市民活動の入り口としては、趣味を通して自分でもやりたいと思うのではないか。

■委員

- ・ 市民活動とサークルの違いはなんなのだろう。
- ・ 市民活動は楽しそうだから始めようではないか。

■委員

- ・ 交流会に参加した団体はボラセンやプレイスで行っているイベントにも参加しているのではないかと。重なっている部分があると思う。

■副委員長

- ・ 社会教育関係団体なども、武蔵野芸術文化協会のイベントなど、ヒントになると思う。

■委員長

- ・ 数年前に、学習活動をしている成果をボランティアに活かしたいかという全国調査で、5割前後の方が活かしたいと回答した。
- ・ 教育委員会と市民活動推進課の連携にも繋がってくると思う。

■委員

- ・ 本委員会で「学び」を言葉に出してきた。学びの部分と社会貢献がミックスしてくるといいのでは。

■副委員長

- ・ 参加しているボランティアで感じたことは、連絡等が大変だったり手間がかかる。
- ・ 市民活動団体のように活動している方に教えてもらえると助かる。

■委員

- ・ 今日の交流会に参加した団体が、連携をとっているというのがわかった。

## (2) 平成 29 年度基本施策の達成状況評価

### 基本施策 1 : 市民活動の裾野の拡大

#### 1-1 市民活動のきっかけづくり

#### 1-2 多様な活動につながる情報の提供

#### ■委員長

- ・ 前回の委員会では重点施策に絞って、基本施策にも重なっているきっかけづくりについて議論をしている。
- ・ 本日は、情報の提供についても意見交換していきたい。
- ・ 事務局（市民活動推進課・武蔵野プレイス・ボラセン）から、平成 29 年度に行った事業で特に力を入れたこと、課題があったことを教えてほしい。

#### ■事務局

##### （市民活動推進課）

- ・ 本日開催した交流会について、昨年の交流会では市民の参加が数名であった。どうしたら市民が参加していただけるかを考え、昨年に行ったワークショップをやめ、団体の活動実演を行っていただき、市民に興味を持ってもらえるよう工夫をした。活動実演を行うために、場所を市民文化会館大ホールで開催した。

##### （武蔵野プレイス）

- ・ きっかけづくりとしては、市民活動学校や市民活動の森では見に来てはくれるが、その後、つながりや交流が生まれにくかった。今年度は 7 月に行ったコミュニティマーケットで一般市民と団体、団体同士がコミュニケーションをとれる工夫をした。
- ・ 講演会を行っているが、市民活動を知ってもらうきっかけにはなっているが、講演会を聞いた後に、自分で参加をするといったきっかけづくりになるような内容を計画している。

##### （武蔵野市民社会福祉協議会）

- ・ 市民社協では、ボラカフェというイベントをやっている。参加者に自分たちの活動をブース出展して紹介してもらおう。参加者同士の交流と市民にも活動を知ってもらうのが目的。参加者・一般市民の数がまだ目標よりも低いという課題がある。
- ・ 改善したことは、まず場所を変えた。人の流れを意識した。
- ・ また、参加者同士の交流を中心の目的からはずして、初めて来た人や、通りかかった人が入りやすい形にしようとした。

#### ■副委員長

- ・ 平成 30 年度に行った事業であっても、過去の課題を解決するため、または発展するために工夫したこと等があれば、平成 29 年度の成果であると思う。

■委員長

- ・ 自己評価して、課題があれば次に反省を活かそうとする。委員会は事後を見ているが、昨年度どのような反省があり、工夫したかを見ていくのもよい。

■委員

- ・ 男女平等事業で、平成 29 年度から平成 30 年度にかけて、内容が飛躍してできていたのではないかと思う。
- ・ 実行委員に様々な方が関わってくれるようになった。新たな人達を巻き込み、若い人も参加していて良かったと思う。
- ・ チラシのデザインも良くなった。デザイナーを入れて力を入れた。

■委員長

- ・ 事業実施者は反省をして、次に活かそうとしていると思う。
- ・ 昨年度行った事業実施者が、今年度どのように改善したか、そのような情報を委員会で共有したい。次回委員会に資料を準備していただけないか。検討していただきたい。

■事務局

- ・ 資料としては、改善点等のプロセスを準備すればよい。

■委員長

- ・ どうすれば改善するかといった提案内容でもよい。

■委員

- ・ 広報が重要。ただ配るのではなく、広報が上手い人を探す。

■副委員長

- ・ イベント等を行う場合、まずは広報媒体を検討するようにしている。そうすれば知人などに SNS を使い情報を広めてもらえる。

■委員

- ・ 来年からコミュニティ未来塾むさしのの第 5 期が始まる。そのチラシのデザインが良い。
- ・ 内容は今までと違い、応用編と位置付け、修了生や初めての受講者も対象としたゼミ方式となっている。
- ・ 未来塾の修了生から広報ができないかという動きが出ている。
- ・ 「学びの場」から生まれたネットワークが行政のサポートをしてくれる例もある。

■委員長

- ・ キャッチコピー等のアイデアが市民から生まれている。それを行政で活かせるといいという意見だと思う。
- ・ 武蔵野プレイスの情報提供について教えてほしい。

■事務局

- ・ フェイスブック、ツイッターがあるが、見てくれる人を増やすことが課題と認識している。
- ・ 市民活動についてのチラシは職員が作成している。
- ・ アンケートによると、ロコミでイベントを知ったという人が多い。

■委員

- ・ メルマガでの情報発信を行っている自治体、中間支援組織もある。
- ・ 武蔵野プレイスからの情報発信は内容が硬いと思う。

■委員長

- ・ 他自治体は情報発信を NPO 法人が行っている場合もあり、自由な表現ができているのかもしれない。

■委員

- ・ NPO 法人等がデザインや広報を請け負ってくれると良いと思う。

■委員

- ・ 今年度、市では文化振興基本方針を策定し、デザインにもこだわっている。デザイナーの力は大きい。

■副委員長

- ・ 即効性があるものだけではないと思う。例えば、イベントを開催したが、人が来なくても、それを見た人がいればじわじわ効いてくることもある。

3 事務連絡

次回の日程調整

4 閉会